

セッション 司会者	セッションテーマ	報告者	題目	討論者
自由論題A	コミュニケーションのなかの文化	(1)相原征代(北陸大学) (2) デニス・ハーモン(北陸大学)	Japan's sontaku culture as a prism of other-oriented self among Japanese university students – a critical examination of Japanese cultural and Internet society	エイミー・ウィルソン(山口県立大学)
岩野雅子(山口県立大学)		増渕佑亮(東北大学)	言語表現の理解に関わる文化の知識に関する考察	黒沢宏和(近畿大学)
自由論題B	ナショナルな記憶と表象	稲木徹(安徽大学)	「表現の不自由展・その後」における天皇をめぐる表現と文化間対話	中村美帆(静岡文化芸術大学)
川村陶子(成蹊大学)		阿部碧(一橋大学)	戦争証跡博物館から探る「アメリカ市民」による焼身行為の記憶のされ方	岡田建志(静岡文化芸術大学)
自由論題C	近代中国の宗教と文学にみる日本	韋傑(龍谷大学)	民国期における密教復興運動について	鈴木隆泰(山口県立大学)
菅野敦志(名桜大学)		曾小蘭(東北大学)	私小説におけるプロレタリア文学の位相—郭沫若と郁達夫との比較を中心に—	齊藤泰治(早稲田大学)
自由論題D	イスラーム社会とマイノリティ	市岡卓(法政大学)	シンガポールにおけるイスラームからの棄教者の社会的包摂をめぐる課題について	坂口可奈(北海商科大学)
小川忠(跡見学園女子大学)		松井真之介(神戸大学)	ヒズメット運動による学校建設の役割と現状:ヨーロッパ諸国を例に	加藤恵美(帝京大学)
自由論題E	帝国・戦争・越境と東アジア	井出晃憲(稚内北星学園大学)	雑誌『旅』から見る日本統治時代の樺太における観光～オタスの杜の先住民観光を中心に～	藤田賀久(多摩大学)
飯森明子(早稲田大学)		菅野 敦志(名桜大学)	1940年(東京オリンピック)返上をめぐる日中米関係	鈴木裕輔(名城大学)
		藤田賀久(多摩大学)	台湾撤退後の大陳島民—その軌跡とアイデンティティ	菅野敦志(名桜大学)